

ヨーロッパにおける戦略研究の現状

永末 聡
ロンドン大学大学院

1. 学問としての戦略研究の歴史の変遷

- ①戦略研究とは何か
- ②第一次世界大戦の影響
 - ・ リデルハート、J・F・C・フラーの活躍
 - ・ オックスフォード大学戦争史講座の設置
- ③第二次世界大戦後の発展
 - ・ IISS（英国国際戦略研究所）の設立、
 - ・ ロンドン大学キングス・カレッジ戦争研究学部

2. ヨーロッパにおける戦略研究の特徴（イギリスを中心に）

- ①戦史・歴史の重視
 - ・ 歴史、軍事思想、地政学、政治思想等の重視
 - ・ 旧植民地・地域との歴史的関係に由来するグローバルな発想
 - ・ 政策オリエンティッドではない
 - ※米国の国際関係論と異なり、理論、数字、計量をそれほど重視しない
- ②軍・軍関係者・シンクタンクの役割
 - ・ IISS（英国国際戦略研究所）
 - ・ RUSI（英国王立統合軍防衛安保問題研究所）
 - ・ チャタムハウス（英国王立国際問題研究所、RIIA）
 - ※セミナーを通じての政府関係者と研究者の活発な知的交流
- ③ジャーナリズム（新聞）の役割
 - ・ 『タイムズ』、『デイリー・テレグラフ』

3. 中心的研究者・研究機関

- ①中心的研究者<イギリス系>マイケル・ハワード（オックスフォード大学）、ブライアン・ボン
ド（ロンドン大学キングス・カレッジ）、ローレンス・フリードマン（ロンドン大学キングス・
カレッジ）、コリン・グレイ（レディング大学）、ヒュー・ストローン（オックスフォード大学）、
クリストファー・コーカー（ロンドン大学 LSE） / <イスラエル系>マーチン・ファン・
クレフェルト（ヘブライ大学）...ロンドン大学 LSE 出身、アザー・ガット（テルアビブ大学）
...オックスフォード大学出身
- ②中心的研究機関
IISS（英国国際戦略研究所）、RUSI（英国王立統合軍防衛安保問題研究所）、チャタムハウス（英
国王立国際問題研究所、RIIA）、英国サンドハースト陸軍士官学校戦争研究学部、ロンドン大学
キングス・カレッジ戦争研究学部、オックスフォード大学、レディング大学政治・国際関係学
部、ハル大学政治・国際関係学部

以上